

宝くじ業務

Q 宝くじの発売のしくみについて教えてください。

A 宝くじを発売できるのは、法律により、全国都道府県と12政令指定都市と定められています。それらの地方自治体が自治大臣の許可を得て発売元となり、発売などの事務を銀行に委託するしくみとなっています。発売などの事務を受託した銀行では、発売元の定めた発売計画に従って、宝くじ券の図柄選定、印刷、売場への配送、広報・宣伝、売りさばき、抽せん、当せん番号の発表、当せん金の支払いなどを行います。

Q 宝くじの市場規模はどのくらいなのでしょう。

A 平成9年度の売上総額は、7,796億円。そのうち、年3回発売されるジャンボくじは高額賞金で人気を呼び、売上の50%以上を占めています。また、宝くじの誕生から現在までの発売額は累計で10兆円を超えています。このように宝くじは、国民の健全なレジャーの一つとして定着し、広く親しまれています。

Q 宝くじの発売情報を知りたい場合は、どうすればよいのですか。

A 宝くじ売場や電車のなかなどに、宝くじ発売のポスターを掲示してお知らせしています。その他、発売チラシや発売日入りポケットカレンダーを全国の宝くじ売場で配布しています。また、ジャンボくじについては、テレビやラジオなどのマスメディアを通じて発売情報を提供しています。

Q 当せん番号を知りたい場合は、どうすればよいのですか。

A 宝くじ売場でお調べするほか、テレホンサービス、ファクシミリによる当せん番号照会、文字多重放送、パソコン通信、当行のインターネットホームページ(P.50「インターネットホームページ」ご参照)でもお知らせしています。また、過去約1年間の当せん結果が調べられる年間当せん番号集を全国の宝くじ売場で年2回配布しています。なお、抽せん会の行われた翌日の新聞紙上にも、当せん番号が掲載されています。

Q 受け取りに来なかった当せん金はどうなるのですか。

A 宝くじの当せん金は、支払開始日から1年がたつと時効となります。受け取りに来られなかった当せん金は全額が発売元に納付され、収益金と同様に公共事業などに役立てられています。なお、毎年9月2日を宝くじの日として全国的に当せん金のお受け取りを呼びかけるなど、さまざまなキャンペーンを行っています。

Q 数字選択式宝くじ「ナンバーズ」はどのようなものですか。

A 平成7年度から、数字選択式宝くじ「ナンバーズ」の全国発売が開始されました。現在、「ナンバーズ」は月、水、金の週3回抽せんが行われています。この「ナンバーズ」は、3けたまたは4けたの好きな数字と申し込みタイプを自分で選べるという今までにない「参加型」の宝くじで、そのゲーム性の高さから好評を博しています。